

# 令和元年度尾鷲市男女共同参画審議会 開催結果概要

政策調整課

課長	補佐	係長	係	合議

目的	令和元年度尾鷲市男女共同参画審議会
----	-------------------

日時	令和2年1月10日(金) 14:00~15:00
----	--------------------------

場所	尾鷲市立中央公民館3階中会議室
----	-----------------

内容
<p><b>出席者</b> 委員：重松会長、堀内委員、大川委員、服部委員、梅谷委員、土肥委員 市：政策調整課 三鬼課長、森本課長補佐、久保主事</p> <p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 会長あいさつ</b></p> <p><b>3 令和元年度尾鷲市男女共同参画推進状況及び事業報告について(資料)</b> 事務局久保より資料に沿って説明。</p> <p>○質疑 委員 尾鷲高校のセミナーの内容を詳しく教えてほしい。</p> <p>事務局 具体的に、ジェンダーの背景を掘り下げながら、自分が付きたい職業について第1回のセミナーでグループワークを行ってもらおう。 第2回目のセミナーでは、生徒から意見の出た職業に関連する、市内で実際に働いている方にインタビューし、そういったものを参考に職業とジェンダーについてグループワークを行い、生徒が成果発表をする。</p> <p>委員 インタビューに行くのは市役所の方ですか。</p> <p>事務局 そうです。</p> <p>委員 生徒からはこういった意見が出るのですか。</p>

事務局

性差に縛られずに自分の将来の職業について考えたいといった意見や、グループワークの中で、自分と他の人との考え方の違いに気づいたという意見が出ている。

委員

実施すると生徒の意識付けができるということですね。

事務局

今回は1組だけではなく、2組3組と広げてより多くの生徒にセミナーを受けていただこうと思っている。

事務局

講師の先生から、男は青、女は赤といった、固定概念を取り払ったうえで、将来自分が何になりたいのか、職業について皆さんで考えてみましょうというような投げかけで進んでいく。

そういった枠組みにとらわれない考えの中で出た職業について、事務局で市内で働いている方にインタビューを行い、生徒にこういった職業ですよと示させていただく。

また、委員の皆さまからも、この取り組みを広くやった方が良いとの意見がありましたので、今回は枠を広げて実施させていただく。

去年、全校生徒に向けての男女共同参画の取り組みを行った方が良いのではという意見が出ていたが、尾鷲高校に相談したところ、段階的にやってみてからが良いとのことでしたので、また、今回の取り組みが終わったうえで考えさせていただきたい。

委員

これは男女共同参画についてのアンケートは取っているのか。

事務局

男女共同参画だけのアンケートは取っていない。

セミナーを受講するメンバーだけでも取ってみたいと思う。

市内在住の方1,000名を対象とした市民アンケートには、男女共同参加に対する推進状況等に関する項目は入っている。

委員

性差というところで男の人に向いている力仕事、女の人に向いている仕事がある。

性差ということの下に男女平等があると思う。

男女雇用機会均等法が出来てから、平等というところで行くから危ないなと感じている、性差による男女共同参画の意識であったり、産休が取れるが現実には生活できないといった、良い意識は大切だが現実には違うので、良い社会になるように意識啓発を行っていくのは、高校のセミナーでもしてもらえると良いと思う。

また、男女共同参画の意味を若い人に知ってもらうことで、ベースが出来あがってくる。

委員

育児休暇を取ったら生活できない人はいる。

委員

理想と現実のギャップも子ども達が知れば良いと思う。

事務局

市役所の職員でも意識は変わってきていると思うが、制度が追いついていない部分もある。

これだけ少子高齢化、合計特殊出生率も低下しており、国も保証して、育児休暇が取りやすい方向に行くと思う。

委員

尾鷲高校でのセミナーが2組3組に広がったのは良いと思った。

これは1年生全員なのか。

事務局

普通科の全員です。

商業科、工業科については、今後できるようであれば増やしていきましようといった話になっている。しかし、フレンテみえの講師の数が限られてくるので、とりあえずは普通科での実施となる。

委員

第2次尾鷲市男女共同参画推進基本計画が令和4年3月で終わりになるので、検証をしなければならない。

無作為に1,000名の方にアンケートお願いしてというのは来年度やるのか。

事務局

これは総合計画のアンケートになり、毎年実施している。

第2次尾鷲市男女共同参画推進基本計画は令和4年度で終了するが、総合計画についても令和4年の3月で第6次後期基本計画が終了し、第7次がスタートする。

それに併せて、総合計画と男女共同参画推進基本計画をリンクさせたうえで、トータル的に計画を策定しなければならないと思っている。

来年度から全体的なものを踏まえて進める予定であり、アンケート結果、KPIの部分をしっかり持ったうえでないとダメだと思っているので、その点は精査して進めさせていただきたい。

委員

市民アンケートでの男女共同参画における回答結果はどのようなのか。

事務局

重要度は高くないが、満足度はある程度いっているという評価になっている。

委員

市民は男女共同参画の施策に満足はしているが、必要とあまり思っていないということか。

事務局

重要度のポイントがあまり高くない。

防災や医療などと比べて高くない。

委員

男女共同参画の話なので、10年前に比べて重要だと思ってきているのかというのが重要だと思う。

事務局

過去の推移を表現できるようにするのが大事。

委員

例えば、家事は母親が担当しているとか、今でいえば父親が家事を担当しなければならないとかそういった考えの表は欲しいかなと思う。

委員

視覚化するとか、見えるような形にするとアピールできるのではないか。

事務局

次期計画に向けて、データの収集は大切だと思うので、それに向けての取り組みはしたい。

委員

事務局がやろうとしていることを我々が追認するような会議となっている。

計画が決まってしまったのでと言われると、それに反論はできない。

計画の段階で、何かこちらから提案して、それが盛り込まれれば、少しだけ主体感を持ってやれていると感じることができる。

よりアクティブにやっていきたいと思っている。

また、他の世代にもアプローチできるような話あれば良いと思う。  
フレンテみえの方に来ていただいているのは良いと思うが、三重大の教育学部は、いつもエリーという団体から人を招いている。  
トランスジェンダーの方にお越しいただいて話していただいている。  
三重大の学生の中にも男女で分けられない人がいる。  
学生たちも理解を深めるために、そういう方をお呼びしたら、また違う展開があるのかなと思う。  
尾鷲高校の取り組みはこれで良いと思う。  
中学生とかにも話をしたら良いのでは。  
また、資料にある女性の管理職数について、一気に3～4人昇進させることができれば、本人たちも少し気楽に思えるのではないか。  
令和4年3月にこの計画が終わるのであれば、次の4月ではなく、その次の4月には昇進していないと多分達成しないと思う。

#### 事務局

市役所もある程度女性職員はいますので、普通に昇進していけば2割程度は女性でないとおかしい。  
しかし、人材育成のあり方で、人事を行う総務課は女性の管理職に非常に期待しており、育てたいと思っているが、一定のところまで行くと、責任をどう捉えるか、仕事内容を含めて、降格願いを出してしまうような事例も過去にあったため、そういうところが積もり積もって後輩たちにもあまりよい影響を与えていないというはある。  
意識が高い方が出てくれば、昇格できる仕組みは出来ているので、個人の思いによる差が大きいと思う。

#### 委員

女性が出て安心という構造から育んでいかないといけない。  
高校生や中学生の意識から育てていくのは非常に重要だと思う。  
女性が辞退することがある、そういったことをフォローする構造も考えていってほしい。  
女性が辞退するのも、それも一つの権利だと思っている。

#### 委員

結局、旦那を含めてどれだけ理解があるかという話。  
今の高校生や中学生は男女平等であるという考えが当たり前と思っている。

#### 委員

多世代の検証も必要だと思う。  
広報おわせで、チェックシートのような形で、健康チェックのように、それを回収して数字をあげるというのは次のことで、まずは意識する場をこういった広報を用いて、各家庭で意識する場を設けてもらってはと思う。  
セルフチェックのようなもので、実は昔はこういった社会だったんですよというような、若い方にもわかって、お年寄りには今の社会がわかってというようなもの。

#### 事務局

自分の意識の中で高めてもらうにも良い取り組みだと思う。

#### 委員

条例を委員に渡して理解してもらうのも大事だと思う。  
女性職員を何名在職させなければならないといったものはないのか。

#### 事務局

総務課の方で、そういったものはあると思う。

#### 委員

女性の正規職員の比率はどうなっているのか。

事務局

資料の 8 番目に提示している。

委員

これは非正規を除いた正規職員の数なのか。

事務局

そうです。

委員

相談窓口は福祉保健課になるのか。

事務局

DV などの夫婦間の問題は福祉保健課で扱うが、男女共同参画の意識の問題については、以前から政策調整課の方には相談はあるのか。

事務局

正直ごぜいませぬ。

委員

恋人に対する DV も増えていると聞いているが、意識の改革というのは物凄く大きいと思う。

事務局

委員が大学でのことを言われたが、今後、高校・中学の中でどのような視点で、どういったポイントが気づきになると思うのか。

いつぐらいから、どういったタイミングで関わっていくことが教育現場で必要なのか。

委員

大学としては、来た学生に対しての対応、また、教育学部のため先生になる方も多いので、そういったことの知識を入れてもらい、現場対応と啓発活動の同時並行を行っている。

若い世代でいうと、私の子たちは「お父さん今日デート DV について勉強してきた。」と言葉では言わないが、お便りに載っている。

そういったものを中学校でも勉強している。

小・中・高、現場で何をやっているのか聞いてみて、市としてどう動けるかというような話をした方が、向こうに寄り添った話になると思う。

事務局

今後、そのアンケート項目を考えていくヒントになるかもしれない。

委員

色々なジェンダーを知ることによって、ちょっとあの子そうやな、尊重せなあかんというように、周りが過剰に反応しすぎて、そっちの方向に持って行ってしまおうという危険性があると思う。

思春期の子たちは性的にはまだ中間で、どちらにも揺れる時期でもあるので、大人がジェンダーを仕分けするということではなく、より深く勉強して、揺れるところも見守って育てていく、そういう視点を持って、男女共同参画やジェンダーを大事にしていてもらいたい。

委員

尾鷲市の教育委員会がどうしているかも重要、教員の研修も含めて。

#### 4 その他

事務局

資料の修正が 1 点、3 ページのところに PTA 大会の開催場所が間違っており、正しくは中央公民館の講堂でお願いしたい。

委員

受付はどのようにしたら。

事務局

受付は、PTA 大会の開催前に政策調整課から委員の方へ通知をさせていただくので、政策調整課まで出欠のご連絡をお願いしたい。

また、当日は、PTA 大会の前段は PTA の方のみの出席となるため、講演会の時間になったら、受付の担当者が案内する。

委員

それが 13 時 50 分なのか。

事務局

講演会が 13 時 50 分からとなっている。

事務局

男女共同参画のアンケートの経過をまとめる方向で進めていきたいと思う。

今日いただいたご提案を実現できる部分も含めて、一度検証して方向性も報告させていただきたい。

広報については、担当課が政策調整課となるため、相談してみたいと思う。

記事内容でご提案があれば、また教えていただきたい。

委員

尾鷲高校の商業科、工業科で男女共同参画セミナーを行うのも面白いと思う。

ほぼ、女性ばかりのクラスと、ほぼ男性だけのクラスなど。

委員

それをご検討いただければと思う。

5 閉 会

以上